

2018年5月29日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、カメラ撮影で祭屋台 VR 化

対象物を周囲から 360 度撮影し、アップロードすることで VR コンテンツを自動生成できるクラウド型 CMS の提供を開始、高山市・祭屋台などのパノラマコンテンツ化で採用

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、VR コンテンツプラットフォームの開発を手がける株式会社アジェンシア(本社:愛知県名古屋市、代表取締役兼 CEO:ジャン ピエール、以下 アジェンシア)と共同で、全天球パノラマ画像・映像によるツアーコンテンツ向け VR 静止画用 CMS「PANOCLOUD360(パノクラウドサンロクマル)」や、VR 動画用 CMS「dougaVR(ドウガブイアール)」サービスを 2016 年から展開しています。

今回、商品など対象物を周囲からカメラの動画モードで 360 度撮影し、クラウド上の CMS (Contents Management System) へアップロードすることで、対象物を 360 度回転させて閲覧できるオブジェクト VR を自動生成できるシステムを新たに開発。従来提供する「PANOCLOUD360」や「dougaVR」の機能と合わせてパッケージ化した、クラウド型新 CMS「doitVR(ドゥーイットブイアール)」の提供を、2018 年 5 月 29 日より本格的に開始します。

これにより、空間の 360 度画像や映像によるコンテンツの他、対象物自体を自由に 360 度回転させて閲覧できるコンテンツなど、さまざまな 360 度パノラマコンテンツを同一プラットフォーム上で簡単に制作・公開できるため、対象物の魅力を余すところなく訴求できます。

なお本サービスは本格販売に先立ち、岐阜県高山市が 2017 年度から取り組む景観刷新事業として、祭屋台や照蓮寺本堂などの高山市の日本遺産主要構成文化財 33 コンテンツで採用。国内外の観光客に向けたプロモーション施策として、その魅力の訴求に活用されています。

これらのコンテンツは、構成文化財ごとに現地に設置されている説明看板やトレーディングカードに掲載された QR コードをスマートフォンで読み取ることによって閲覧することができます。また、凸版印刷が提供する観光ガイドアプリ「旅道®-TABIDO-」からもアクセス可能です。



「doitVR」のサービス利用イメージ。櫻山八幡宮の八幡鳳凰台(左)、国指定重要文化財の照蓮寺本堂(右)

■ 開発の背景

生活者のライフスタイルの変化やメディアの多様化などにより、企業と生活者をつなぐコミュニケーション手法は大きな変化を見せています。特にエンターテインメントや観光分野において VR を活用したビジネスが活性化、その市場規模は 2020 年までに約 8 兆円に拡大すると推測されています。

民生用全天球カメラの台頭により 360 度パノラマ映像の撮影が身近なものとなり、その映像を用いて簡単に VR コンテンツが制作できるようになりました。しかし、そのコンテンツをアプリや Webなどで公開するには特別な知識や設備が必要なため、その負荷を軽減する仕組みが求められていました。

凸版印刷は今回、従来提供する VR コンテンツ向け CMS サービスに、専門知識がなくても VR コンテンツを簡単に制作・公開できる CMS サービス「doitVR」をラインアップに追加。企業のブランディングやプロモーション活動の活性化に貢献します。

■ 「doitVR」の特長

・対象物を周囲から動画で撮影することでオブジェクト VR の生成が可能な機能を新たに追加
スマートフォンの動画モードで対象物の周囲を一周撮影した動画などから、クラウド上のプログラムによって自動的にオブジェクト VR を生成・公開することができます。

・静止画 VR や動画 VR コンテンツも同一アカウントで生成可能

従来展開する全天球パノラマツアーコンテンツ静止画用 CMS「PANOCLOUD360」や動画用 CMS「dougavr」と今回のオブジェクト VR 生成機能を加えた複合型サービスとして、利用できます。

・スマートフォン用簡易ヘッドマウントディスプレイ「VRscope®」にも対応

制作したコンテンツは、PC はもちろんスマートフォンでの閲覧も可能なため、凸版印刷が提供する簡易ヘッドマウントディスプレイ「VRscope®」にも対応。安価ながら高い臨場感を提供できます。

・凸版印刷の観光ガイドアプリ「旅道®-TABIDO-」と連携したプロモーションにも対応

凸版印刷が提供する、旅先ならではの自動音声翻訳が可能な観光ガイドアプリ「旅道®-TABIDO-」と連携し、360 度 VR コンテンツを活用したプロモーションが可能です。

■ 今後の目標

凸版印刷は本サービスを自治体や観光関連事業者、メーカーや住宅業界などに向け拡販、2020 年に関連受注を含め約 2 億円の売上を目指します。

また凸版印刷とアジェンシアは今後も、本サービスや関連事業に関し、共同で技術開発などを行っていきます。

■ 「PANOCLOUD360」、「dougavr」について

「PANOCLOUD360」は、複数の全天球画像の組合せなどによる、パノラマツアーコンテンツの編集、公開ができるクラウド型 CMS です。自治体や不動産、自動車業界など、さまざまな分野で活用されています。<https://www.panocloud360.com/>

「dougavr」は、「PANOCLOUD360」の動画版で、各種プロモーションや技術伝承、教育などの分野で活用されています。<https://www.dougavr.jp/>

■ 旅道®について

観光立国の実現に向け、「何度も旅したくなる日本」をコンセプトに、さまざまな企業と連携し、訪日外国人の旅の質と利便性向上を目指す、凸版印刷の取り組みです。

・TABIDO WEB URL: <https://www.tabido.jp/ja>

・TABIDO アプリ入手方法: App Store および Google Play よりダウンロード可能です。

* 凸版印刷株式会社は株式会社アジェンシアと資本業務提携しています。

* 「PANOCLOUD360」、「dougavr」、「doitVR」は、株式会社アジェンシアが開発し、凸版印刷株式会社が販売するサービスです。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上